

# 私たちの世界：セックス・ジェンダー・ セクシュアリティを考える(2021)



## 授業概要

文理融合型オムニバス形式で行われる授業の中で、セックス・ジェンダー・セクシュアリティという言葉の持つ意味と背景について理解を深める。そして、男女共同参画社会の実現という現代の課題に向けて「私たちの世界」を創る一員としての受講生自身が性について考えるきっかけとしたい。

## 到達目標

セックス・ジェンダー・セクシュアリティという概念を通して、有性生殖の生物学的起源から、男性・女性という二項対立的イデオロギーが持つ社会的歴史的背景並びに現状を批判的に理解し、性の多様性についても正しい認識を持って議論できるようになる。そして他者や自身のアイデンティティや行動を総合的に評価し、持続可能な社会を構築するためのグローバルな人材を創出する。

## 成績評価

600字レポート、最終回授業課題、授業貢献、エキストラポイントで評価する。

- ・600字レポート(5点×13本=65%) 毎回の授業の後、担当教員から講義に関連した課題を与えるので、それを600字程度のレポートにまとめて提出する。レポートは出題から2日以内(木曜日午後6時)にムードルの課題ドロップボックスに投函すること。成績評価は、各レポート5点満点で採点、未提出は0点になる。レポートは原則返却しない。成績は定期的に開示する。

- ・最終回授業課題「みんなで作る『私たちの世界』」授業案(15%)：詳細は授業で説明する。

- ・授業貢献度(20%)：詳細は授業で説明する。

- ・エキストラポイント(3点評価×提出数)：本授業で案内される講演会等に出席しレポート(600字程度)を提出した者には、1回につき3点満点で評価し、エキストラポイントとして全体評価に加算する。

## 授業計画

<予定>

1. 「この授業の基本方針と概念整理」 瀬名波 栄潤 (文)
2. 「多様『性』への歴史」 瀬名波(文)
3. 「弁護士が見た性と法と裁判」 須田布美子(弁護士)
4. 「20世紀後半以降の日本のサブカルチャーの中のジェンダー規範」 蔵田 伸雄 (文)
5. 「労働とジェンダー」 駒川 智子 (教)
6. 「ジェンダーとデートDV」 志堅原 郁子 (NPOピーチハウス)
7. 「ことばとジェンダー」 富成 絢子 (広メ)
8. 「おんながたとモダンガール：20世紀中国演劇における女性像の表現」 田村容子
9. 「多様な性」 L-Port・瀬名波 (文) ほか
10. 「性的マイノリティとメディア表象」 齊藤巧弥 (広メ)
11. 「リプロダクティブヘルス/ライツ」 海老名 康彦 (保健)
12. 「性の発現と多様性」 勝 義直 (理)
13. 「性の決定と分化で見る男女差」 黒岩 麻里 (理)
14. 「法/裁判とジェンダー」 尾崎 一郎 (法)
15. 「みんなで作る『私たちの世界』」 瀬名波 (文)